

令和元年度第2回学区審議会 会議概要

1 開催日時

令和元年12月13日（金） 午後2時30分から午後4時00分まで

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 4階 402会議室

3 出席者

（委員）

江邨会長，濱田会長職務代理者，藤崎委員，村田委員，亀崎委員，渡邊委員，坂内委員，加瀬林委員及び郡司委員

（事務局）

神山教育部長，松島教育総務課長，竹尾学務課長，大徳学務課副参事，益田学務課管理主事及び並川管理主事

4 議題

（1）議案第1号 成田市立大栄みらい学園の設置に伴う学区の指定について

（2）報告第1号 指定学校変更・区域外就学の状況について

（3）その他

①小規模校における教育活動の実践事例について

②豊住地区における教育環境に関するアンケートについて

5 議事（要旨）

議案第1号として，令和3年4月1日から義務教育学校「成田市立大栄みらい学園」を設置するにあたり，通学区域について，現在の大栄中学校の学区である地域を指定しよいか諮問をした。事務局より提案した後，委員より質問，意見等を求めた。その際に委員から発言のあった内容は次のとおりである。

郡司委員 大栄みらい学園の設置に伴い，現在の指定校よりも大栄みらい学園の方が近くなる，あるいは遠くなるような地区はあるか。

事務局 稻荷山地区の一部において，下総みどり学園の方が近くなる地区がある。

亀崎委員 そのような地区では，希望があれば下総みどり学園に通えるのか

事務局 指定学校変更の規定に基づいて個別に対応する。

藤崎委員 稻荷山と中野には下総みどり学園の学区に囲まれた飛地があり，もしも飛地に住宅ができた場合の対応はどのようにするのか。

事務局 先ほどと同様，指定学校変更の規定に基づき，個別に対応する。

渡邊委員 川上小学校区には遠山中学校の方が近い地区もある。その対応は。

事務局 先ほどと同様に対応する。

議案第1号については，事務局の提案のとおり答申を受けた。

報告第1号として，成田市立小学校・中学校及び義務教育学校の児童生徒数

の推移について、住民基本台帳と学齢簿のデータをもととして、小学校については令和7年度、中学校については令和13年度までの児童生徒数の推移を報告した。委員からの質問や意見等は特になかった。

その他の1点目として、小規模校における教育活動の実践事例について事務局が調査した他の自治体の事例について報告をし、委員より質問や意見を求めた。その際に委員から表明された発言は次のとおりである。

藤崎委員 豊住小学校については令和5年度に全学年複式学級となる可能性がある。この場合には、教頭、養護教諭、事務職員が配置されない可能性もあり、かなり少ない職員で学校運営を行うこととなる。このような状況も踏まえながら学校の在り方を検討する必要があると考える。特認校という形がふさわしいかわからないが、今後地域と協議をする場が必要となってくると考える。

事務局 この後、委員の皆様は豊住小学校について検討をいただきたい点があるので、ご意見をいただければと思う。

2点目として、豊住地区における教育環境に関するアンケートについて素案を示し、アンケートの在り方について意見を求めた。

渡邊委員 アンケートの対象は世帯数ではなく児童数ということでよいか。

事務局 それぞれの児童の立場で意見を伺いたいので、児童数とした。

濱田委員 兄弟がいる場合、別々に回答するということがわかる表記にした方がよいのでは。

事務局 アンケートを答える立場に立って、表記については改めたいと考える。

藤崎委員 このアンケートは地区からの要望があって実施するものか。

事務局 地区の就学前の児童をお持ちの保護者から、豊住小学校の今後について不安の声が上がっており、その声に基づいて実施しようとしているものである。

藤崎委員 就学前の児童がいる家庭からは意見を伺わないのか。

事務局 その点についても検討段階である。

藤崎委員 就学前の児童がいる家庭からの話を伺う機会を設けた方がよいと考える。

事務局 どのように実施すれば回収率を高め、多くの意見を聞けるかも含めて、アンケートの実施方法を検討したい。

アンケートの素案については会議終了後、事務局で回収をした。

6 傍聴

(1) 傍聴者 なし

7 次回開催日時（予定）

令和元年度第3回学区審議会 令和2年2月下旬もしくは3月上旬開催予定